

Title	いのちを育むホスピスケア：死にゆく人たちに生かされて実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所 News：2013 年度 聖学院大学総合研究所 スピリチュアルケア研究講演会）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.23-No.3, 2014.3 : 57-59
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4969
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

総合研究所 News

2013年度 聖学院大学総合研究所

スピリチュアルケア研究講演会

いのちを育むホスピスケア

—死にゆく人たちに生かされて—

実施結果——アンケート集計結果の概要



supi講演会

終末期がん患者さんが増える傾向にあり、現代医療は治療中心から全人的ケア中心の医療に変わりつつあります。細井先生はホスピスで患者さんとご家族のための最善の医療を求めています。患者さんと家族と医療者が一緒に生かされる医療です。細井先生のご講演を聞きながら本当の医療のあり方を考えてみましょう。

日時 2013年10月25日

場所 聖学院大学ヴェリタス館 教授会室

【プログラム】

開会の挨拶

窪寺 俊之（聖学院大学大学院教授、同大学こども心理学科長）

■講演

「いのちを育むホスピスケア—死にゆく人たちに生かされて—」

細井 順（公益社団法人近江兄弟ヴォーリズ記念病院 ホスピス長）

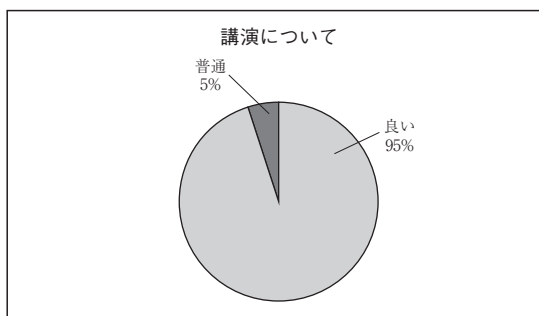
質疑応答

インフォメーション

閉会

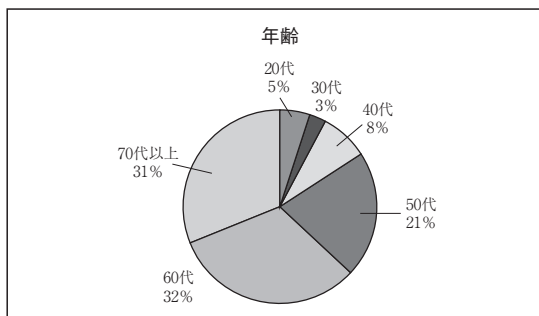
【結果の概要】

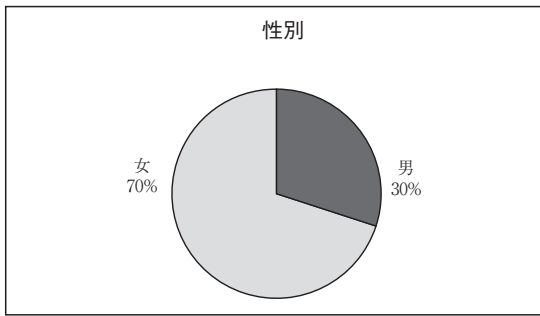
- ・参加者は59名。内、アンケート回答者が38名。
- ・講演については、「良い」が95%と高い評価を得た。
- ・自由意見では、「本当に大切なことを教えてもらった」「多くの方に語り、分かち合いたい」「自分の考えに間違いはないと感じた」など。



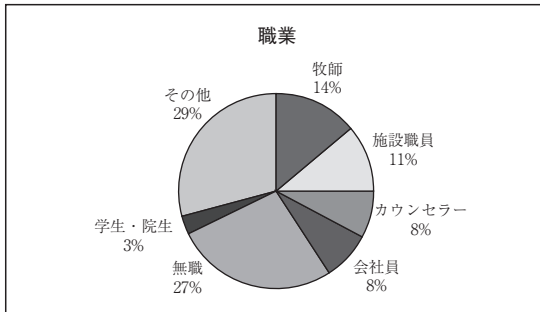
グラフ

(N/A除く)

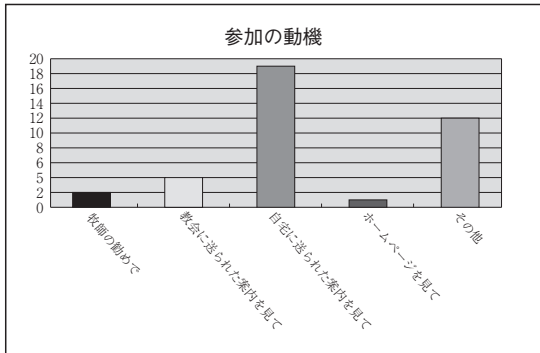




*回答者の年齢は、60代が32%と最も多く、次に70代が31%となった。
性別は、女性が70%、男性30%だった。



*職業として、「牧師」が14%で最も多く、次に「施設職員」11%だった。
「その他」の内容として、「看護師」「医師」「牧師の妻」など。



*参加の動機は、「自宅に送られた案内を見て」が最も多く、次に「教会に送られた案内を見て」「その他」として、「知人の紹介」「朝日新聞を見て」「前回の講演会で知って」「チラシを見て」。

今後の講演について

- ・大切な人を失った人々に対するグリーフケアについて、また、ふさわしい葬儀について。
- ・心の病を持つ方への対応について。
- ・ホスピスについて、さらに講演の機会を作っ

下さい。

- ・死別の悲しみの流れと、死を受けとめることについて支え手としてできること、心がけることなど。
- ・DV問題。特に加害者側の更生問題（これをやらないと、本当の解決にならない）
- ・医師だけでなく、看護師の話も聞きたいです。多くの事例をもっと聞きたい。
- ・物理を講じる事を期待しているのではないから、心の魂、心の有様を多くまた、こまかく伺えると有難い。
- ・石島武一先生にご講演してほしい。聖ヨハネ会桜町病院の前院長先生。お医者様としての多くのご経験とご専門となされる病で家族を亡くされる。医療者と患者の家族の両方の立場のご経験からスピリチュアルケアのあり方についてお伺いしたいです。

自由意見

- ・お話の内容が私の心に深く染み通り、癒されました。（現在、頭部のがんを患っております）。今日のお話を多くの方に語り、分かち合いをしたいと思います。
- ・本日はありがとうございました。映画に感銘を受け、細井先生のご著書もすべて拝読しております。細井先生に出会えたこと、今日直接にケアのお話を拝聴することができたことを糧に、今日生かされていることを大切に噛みしめてまいりたいと思います。
- ・ありがとうございました。体験を乗り越えた人は強いですね。しゃーないな…と広い心で見守る細井先生ですね。
- ・今まで物事になかなか前向きになれない者ですが、高齢者の方たちと関わる仕事をする中で、私が今出来る関わりを行なっている思いですが、委ねることが出来るようになりたいと思いました。
- ・思っている通りでした。大変良かったです。自分の考えに間違いないと感じました。仕事を休んで来てよかったです。
- ・語られます先生の誠実で謙虚なお姿に心打たれました。素直に心開いて拝聴いたしました。ひ

とつひとつが響きました。寄り添う真のあり方を本当に先生ご自身のお姿や、お働きを通して感じる事が出来ました。にじみ出る優しさ、そして死にゆく人とともに生きられ、生かされておられるご様子、心の広さ。私も少し関わりましたので、とても伝わってきました。ありがとうございます。先生のお働きの上に主の慰めとお祈りいたします。映画「いのちが一番輝く日」観たいです。

- ・ホスピスが日本に250あると伺いましたが、細井先生のようなスピリットをもって患者さんにかかわっておられるところは多くはないのではないかと思います。今はがんの方にかかわっておりませんが、自分自身のことも考えつつ、がんの方とかかわるときに、多くの示唆を頂いたことを感謝しています。このようなテーマの講演会をありがとうございました。
- ・今日、この時、「いのちの大切さ、生き方、逝き方」を共に考える時間をいただいた事、感謝しています。
- ・細井先生のお話から、“ことは”そのものの「大切さ、重さ」を感じさせて頂きました。ひらがなことばの「いのち」「わたしたち」の意味すること。また、ギャングラーの患者さんが言われた「心の金銭に触れると涙が溢れます」は、心に響きました。
- ・患者さんの為に何かをしなければ…という気合ではなく、じっくりと相手の話をきき、共にいること。最後に神様に委ねること、本当に大切なことを教えて頂きました。ありがとうございました。
- ・とても分かりやすく、また内容の豊かなお話を聞く事ができて、感謝します。これからも機会をみつけて、聞きに来たいと思います。
- ・最近、私の親しい友人をがんでみおくりました。生前、もっともっと何かをしてあげられるのではないかと感じておりましたが、先生のお話を聞いて私自身そばにいて友人と過ごせた数ヶ月を思い少し気が楽になりました。ありがとうございます。
- ・普通のおじさんで、やさしくわかりやすく話して下さり、嬉しかった。神様と共に仕事をして

いるので参考になりました。

- ・講演を拝聴しながら、死を意識された方々のケアも、自分を取りまく問題に悩み死を考える人のケアも、どこか似ていると感じました。人のいのちを守るときはどのような状況でも同じ心遣いが必要なのではないかと思いました。ありがとうございます。
- ・ホスピスの医師や、携わる方々は、一面、牧師のような心持にいきつくのかと思われました。本当に大変な、重要な役割を担っておられるのですね。
- ・細井先生のような考えの医療者が増えてくれたらよいと思った。いくつかの緩和ケア病棟へ関わったことがことがあるが、「いのち」の関わりが不足しているように感じた。ホスピスなど病床のかたわらで看者（利用者）さんに関わるボランティアとしても先生の考え、向き合い方はとても参考になった。尊い時間を共に過ごさせていただけることに改めて感謝しました。
- ・具体的な例を出されてのお話し、とても参考になりました。ありがとうございます。
- ・自分の死ぬ時は参考になりました。（現在がんの治療中です）
- ・参加させていただきただけで、とても感謝しております。また参加させてください。
- ・ぜひ家族で「いのちがいちばん輝く日」の映画を観てみたいです。
- ・貴大学がいつも良い企画をされますこと、感謝しております。
- ・大変意義深いご講演感謝します。
- ・会場が寒かったです。



講演者：細井順先生